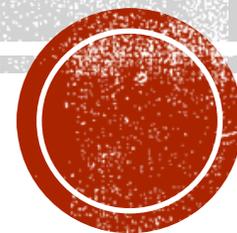
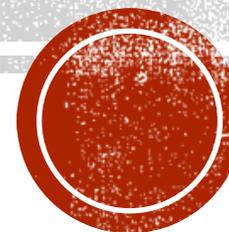


2023年度事業報告 2024年度事業・行動計画



こもれび
生活介護・就労継続支援B型多機能

2023年度評価（事業報告）



こもれび
生活介護・就労継続支援B型多機能

2023年度事業実績目標 4,490万円

(後期月額359万円)

	開設 日数	登録 人数	延 利用数	事業費 生介 (定員10名)	平日 平均	事業費 就B (定員10名)	平日平均	レス パイト その他	自己 負担金 (昼食代)	合計
上半期	122	18	1,897	17,766,073	9.8	5,208,041	5.8	15,920	350,200	23,340,234
10月	21	18	340	2,924,301	10.2	926,810	6.0	2,500	62,100	3,915,711
11月	20	18	313	3,096,800	9.8	870,021	5.9	2,400	56,300	4,025,521
12月	20	18	302	2,977,560	10.2	742,530	5.0	1,600	58,800	3,780,490
1月	19	18	★ 286	2,611,837	9.6	780,860	5.5	0	55,900	★ 3,448,597
2月	20	18	★ 258	2,697,541	9.5	528,076	★ 3.6	0	57,900	★ 3,283,517
3月	21	19	★ 281	2,919,405	9.7	588,870	★ 3.7	4,800	60,800	★ 3,573,875
下半期	121	18	1,780	17,227,444	9.8	4,437,167	4.9	11,300	351,800	22,027,711
合計	243	18	3,677	34,993,517	9.8	9,645,208	5.3	27,220	702,000	45,367,945

※12月末から区分6の利用者が入院、手術をし、4月現在も入院中。今後の利用予定も未定。
(21,000円×15日×3ヶ月 約95万円のマイナスとなった)

※1月末より就B利用者2名が他事業所の見学、体験とその後自身に合った所が見つければ移行したいとの希望があり、相談支援員が担当し、3月末で退所。(7,500円×20日×2か月×2名 約60万円のマイナス)



事業実績目標
4.490万円
に対して

約47万円プラス！

目標達成率

101%

(45,367,945円 平均約378万/月)



2023年度 CAFE & CRAFT はるにれ

売り上げ目標金額 315万円

(目標月額約26万円)

月	カフェ	雑貨	職員昼食	幼稚園弁当	わたっご飯	こもれび昼食	合計
上半期	575,920	23,200	175,630	333,900	255,200	350,200	1,714,050
10月	114,810	1,100	30,300	107,210	5,750	62,100	325,470
11月	117,440	12,900	28,000	86,840	6,500	56,300	307,980
12月	84,140	11,600	33,000	73,930	7,000	58,800	268,470
1月	65,690	1,500	30,000	76,470	7,200	55,900	234,060
2月	78,590	2,730	34,400	113,030	6,500	57,900	293,150
3月	112,140	6,741	30,650	48,030	6,150	60,800	263,711
下半期	572,810	36,571	186,350	505,510	39,100	351,800	1,692,841
合計	1,148,730	59,771	361,980	839,410	294,300	702,000	3,406,191

※昨年度と比べ、幼稚園弁当が週に2回に増えている。

※さをりの商品等をメルカリで販売。手数料を差し引き約4,000円の売り上げ有。



カフェ売り上げ目標
315万円
に対して

約25万円プラス！

目標達成率

108%

(3,406,191円 月平均約28万円)



2023年度 行動計画報告

【生活介護】

- ・ 毎日の活動に「適度な運動」の時間を組み込み、職員全員がひとり一人にあった支援方法を考え（PDCA）2024年3月までに、全体で20Kgの減量を成功させる。
- ・ 生活習慣の見直し、健康管理と情報共有を行う。



1年間、適度な運動に取り組み 利用者ご家族と 生活習慣の共有を行った 体重の増減結果

マイナス13.6kg
プラス 1.6kg
達成率 60%

利用者	身長	適正 体重	体重 (2023.4)	適正比	2023 年度 目標	体重 (2024.3)	体重増減	達成 度合
Aさん	173cm	65.8kg	86.8kg	+21kg	-3kg	84.6kg	-2.2kg	73%達成
Bさん	166cm	60.6kg	82.6kg	+22kg	-5kg	72.4kg	-10.2kg	目標達成！！
Cさん	177cm	68.9kg	102.8kg	+33.9kg	-5kg	103.8kg	+1kg	-120%
Dさん	166cm	60.6kg	64.2kg	+3.6kg	-1.5kg	63.0kg	-1.2kg	80%達成
Eさん	150cm	49.5kg	82.4kg	+32.9kg	-3kg	83.0kg	+0.6kg	-120%
Fさん	157cm	54.2kg	61.8kg	+7.6kg	-2.5kg	61.8kg	±0kg	0%



目標体重に対しての達成率は60%であったが
全体として1.6KGしか増えていないんです！！

- リカンベントバイクの導入で天候に左右されずに運動が規則的にできた。
- 外へ出れない日のサーキットの組立。
- 散歩に楽しみをプラス。
(生き物を数える、買い物と組み合わせる)
- 天候の良い日はポスティング (1枚配布で4円) で運動も工賃 (1枚配布で4円) もGET。

お盆明けのコロナクラスター (5人感染) で22日の欠席を覗くと、病欠は13日
※ご家族、GHで伝染性の病気の流行による欠席は含まず。

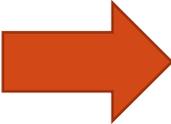


平日日中の運動を確保しても・・・。

- 年度の途中で目標を達成していても、週末、連休、期休み（GW,盆、正月）等で体重が増えてしまう。
- 生活習慣記録表でご家族と情報の共有をしたけれど、ご家庭での食事、おやつ
の摂取量、質を把握、コントロールすることは困難。

※ご家族の「好きな物を食べたい量食べさせたい」という気持ち、ご本人の「食べたい！食べるのが楽しみ！」と、健康のバランスを取っていく事の難しさを実感。

★私たちにできること

- 
- 今後も利用メンバーのモチベーションに配慮しながら、適度な運動を毎日取り入れた活動を継続する！
 - 健康観察と記録（体重、気になる症状）を取り、利用メンバーの健康状態を職員全員が意識した支援を継続する！



【就労継続支援B型】

- モーニングをスタートさせる。
- 新規利用者の受け入れをすすめる。
- 仕事の幅、環境を広げる（パン工房、新たな作業）

目標通り
9月に
100%達成

3月末に
1名達成

内職：ぽけっとイレ、大和食品（包装・梱包）、
シール貼、きつねペイントのポスティング等
お試しを実施し、今後受注の予定
委託管理：公園管理（2024年4月～）を予定



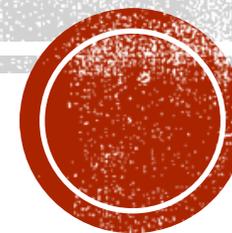
★モーニングスタート後の取り組み

- モーニングスタート後は、より良い提供とそれに伴う変更を分かりやすく利用メンバーへ伝え、新しいオペレーションの練習、実行を行った。

- 集客UPに繋がる宣伝、
できることを実行。
➔ チラシの作成（済）
ポイントカードの作成と
実施（2024年4月～）



2024年度事業・行動計画



こもれび
生活介護・就労継続支援B型多機能

2024年度事業費等達成目標

- 生活介護・就労継続支援B型事業費

目標 4,532万円（月額約378万円）

- カフェ・店舗売上

目標 305万円（月額約25万円）



報酬改定と生活介護の利用状況と 半田市の就B事情をふまえて

- 今回の報酬改定により、こもれびの生活介護の定員10名に対し、前年度の利用実績は7.3人となる。（改定前の算出方法で計算すると9.8人）
= 新規で2.7人の利用が可能。（内、来年度の利用が決まっている2名分（1.5人分）は空けておく必要がある）
- 生活介護の利用メンバーの中には、先の将来を考えて、グループホーム（GH）の利用を検討しているご家族も多く、既にGHの体験利用を行ったり、計画予定の方もおり、年度内、もしくは近い将来、こもれびから移行して行く方もいる。
- 今後も手術入院の予定があり、利用再開の予定が分からない利用メンバーがいる。
- 半田市内の就Bは毎年事業所数が増えており、現在、需要と供給のバランスが取れておらず、今後も利用者を増やす事は困難と思われる。



【生活介護】

- 生活介護は新規利用の準備と受け入れ。
- 利用メンバーの次のライフステージに役立つ支援とその書面化。

【就労継続支援B型】

- 事業形態を生活介護へ変更しても、混乱を最小限にできる準備。
- 移行が必要な利用メンバーのサポート。



2024年度 生活介護 行動計画

- 個々に対する有効な支援の整理と書面化をする。



- 新しい取り組み、活動の組立て、今までの取り組み、活動のブラッシュアップを行う。（正職中心）
- アセスメントしたこと、記録を基に分析、調べて学んだことを共有できるようにする（パート職員、他事業所）。



1階

- 個々のアセスメントを意識した記録を取る。
- 有効な支援を整理し、本人の特性に配慮した新しい取り組みを年間で2つ考える。(2つ×2人)
- 考えたものを書面化し(取り組みの手順書)、パート職員と共有、統一した支援ができるようにする。

2階

- 個別化された中での集団行動に着目し、次のライフステージを見通した支援を考え、集団で過ごす時の配慮、情報を整える(サマリーに追加する)。※GH、災害時を念頭に置いてアセスメントを取る。
- 行動から考える支援を目指す為に、その行動の機能を明らかにするための記録と分析、学習会をする。



【必要アイテムの補充】



★ 電子ツールの有効活用 ★

- 言語による発信の弱い利用メンバーや、視覚優位な利用メンバーとのコミュニケーションツールとしての活用。
- 好嗜としての活用。
- 余暇、休憩時間の過ごし、体操や音楽、ダンスの活動での活用。

★ 書籍等 ★

- 学習会（自主的な）で使用でき、職員間で共有できる書籍



2024年度 就労継続支援B型 行動計画

- カフェ業務（HACCPを含む）に携わる職員が複数人になっても困らない形を作る。
- 移行が必要になる利用メンバーへの説明と移行のサポート

